

名城大学・公開講演会

「セイロン瓜と地域連携」



写真：1m以上の長い果実が並ぶ
セイロン瓜のグリーントネル

セイロン瓜プロジェクトは・・・

●・・・本学経営学部のカマラ教授（当時、鈴鹿国際大学学長補佐）の提案により鈴鹿市において始められた取り組みであり、地域社会の活性化を図ることを目的の一つとしています。

●産・学・官が一体となり進めてきているこのプロジェクトは、現在、他県まで広がっている中、愛知県においては、名城大学と天白区の地域連携活動や扶桑町などで「町の活性化事業」として位置づけられています。

●今回、セイロン瓜を事例にし、セイロン瓜普及による地域活性化や大学と地域連携の可能性について改めて考えてみたい。

日時：7月2日（木） 10:50～12:20

場所：名城大学・共通講義棟 北館1階 N105 講義室

対象者：学生・一般。 参加費：無料

主催：名城大学経営学部、国際開発学会東海支部、名城大学アジア研究センター

後援：天白区役所、セイロン瓜プロジェクト、扶桑セイロン瓜プロジェクト

● 基調講演：アーナンダ クマラ氏（名城大学経営学部教授、セイロン瓜プロジェクトの提唱者）

● パネルスト：

- | | |
|-----------|------------------|
| ◇ 花井 鍊太郎氏 | セイロン瓜プロジェクト・副理事長 |
| ◇ 片岡 功氏 | 扶桑セイロン瓜プロジェクト・会長 |
| ◇ 水井 健次氏 | 鈴鹿市・元教育長 |
| ◇ 伊藤 容子氏 | 名古屋市天白区役所・区長 |

内容：環境教育、エコ活動としてのグリーンカーテン作り、学校現場での活用のほか、子供から大人まで様々な形で参加できる可能性のある取り組み！多くの人々が参加して地域の活性化を！学校・大学が参加して、社会に対して重要な情報発信を！過去の実績と、これからの可能性について話し合います。

連絡先：〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学

電話：052-838-2051（経営学部事務長 小戸森 尚人）、メール：kodomori@ccmails.meijo-u.ac.jp

メール：kumara@meijo-u.ac.jp（クマラ教授、名城大学経営学部教授）

セイロン瓜は、癖がない低カロリーの新野菜であり、和風、中華、洋風など様々な料理に使うことができます！